

EU Indicators

発表日: 2024年5月1日(水)

欧州経済指標コメント: 4月ユーロ圏消費者物価

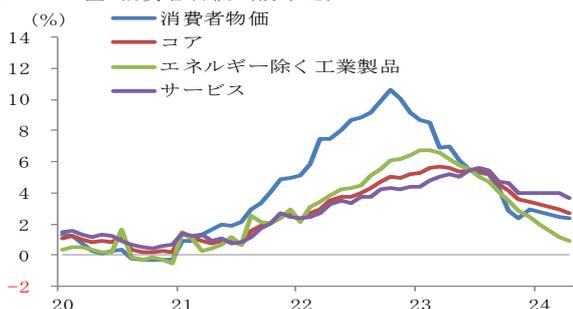
～慎重な利下げペースを示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 050-5474-7494)

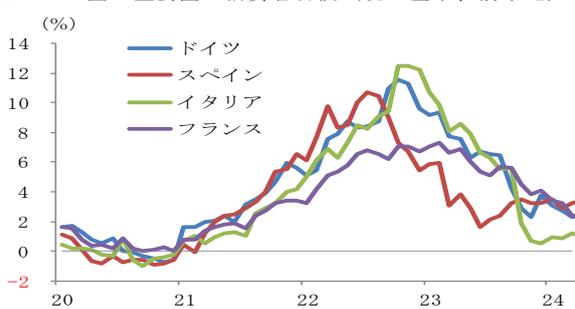
- 4月30日に発表された4月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+2.4%と前月から不変。中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の再上昇を反映し、エネルギー価格の下落率が同▲0.6%と前月の同▲1.8%から緩和した一方、変動の大きい食料・エネルギー・アルコール飲料・たばこを除いたコア物価の上昇率が同+2.7%と前月の同+2.9%から鈍化した。コア物価の詳細は5月17日発表の速報値の結果を待たなければならないが、速報段階で入手可能な内訳からは、エネルギーを除く工業製品の上昇率が同+0.9%と前月の同+1.1%から一段と鈍化したことに加えて、高止まりが続いてきたサービスの上昇率も同+3.7%と過去5ヶ月の同+4.0%から鈍化した。
- EUの統一基準でみた国別計数は、ドイツ（前月：同+2.3%→今月：同+2.4%）、スペイン（同+3.3%→同+3.4%）、ベルギー（同+3.8%→同+4.9%）などの上昇率が前月から加速した一方、イタリア（同+1.2%→同+1.0%）、オランダ（同+3.1%→同+2.6%）、オーストリア（同+4.1%→同+3.4%）などの上昇率が鈍化、フランス（同+2.4%→同+2.4%）が横這い。最も高い上昇率はベルギーの同+4.9%で、最も低い上昇率はリトアニアの同+0.4%。
- 米FRBの利下げ開始が遅延しなかにあっても、最近のECB高官の発言からは、6月の利下げ開始が確実な情勢にある。その一方で、エネルギー価格の押し下げ一巡、PMIの物価関連指数やインディード賃金トラッカーなどの先行指標がサービス物価や賃金の粘着性の高さを示唆、同日公表された1～3月期のGDPで景気が想定を上回るペースで回復していることを確認するなど、中期的な物価安定達成の時間軸は長期化方向。利下げペースが慎重になる可能性が示唆される。

■ユーロ圏: 消費者物価（前年比）



出所: Eurostat

■ユーロ圏: 主要国の消費者物価（統一基準、前年比）



出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

		2023				2024										
		2Q	3Q	4Q	1Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
消費者物価	(前期比)	0.6	0.9	0.3	0.7	0.2	0.3	0.5	0.3	0.1	-0.2	0.0	0.4	0.4	0.2	0.2
	(前年比)	6.2	5.0	2.7	2.6	5.5	5.3	5.2	4.3	2.9	2.4	2.9	2.8	2.6	2.4	2.4
コア消費者物価	(前年比)	5.5	5.1	3.7	3.1	5.5	5.5	5.3	4.5	4.2	3.6	3.4	3.3	3.1	2.9	2.7
食料/アルコール/たばこ	(前年比)	12.5	9.8	6.8	4.0	11.6	10.8	9.7	8.8	7.4	6.9	6.1	5.6	3.9	2.6	2.8
食料	(前年比)	13.7	10.3	6.8	3.6	12.6	11.6	10.3	9.1	7.5	6.9	6.1	5.4	3.3	2.0	-
アルコール	(前年比)	9.2	7.8	6.1	4.1	8.8	8.3	7.8	7.2	6.5	6.4	5.5	5.2	4.3	3.0	-
たばこ	(前年比)	6.4	7.3	7.1	7.7	6.8	7.1	7.3	7.4	7.5	7.3	6.5	7.6	8.5	7.1	-
エネルギー	(前年比)	-1.8	-4.6	-9.8	-3.9	-5.6	-6.1	-3.3	-4.6	-11.2	-11.5	-6.7	-6.1	-3.7	-1.8	-0.6

注: 消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

